日本史Ⅰ

科目ナンバリング　JPH-101
【Ⅲ】　選択　2単位

小山　俊樹

1. 授業の概要（ねらい）

本講義では、列強の接近から日露戦争にいたる近代日本の歴史を題材として、いくつかの問いやテーマを立てて授業を行う。受講生はテキストや配布プリントなどを参照し、講義内容の理解と考察につとめること。

2. 授業の到達目標

受講生各位が近代日本の歴史に関心をもち、講義で示した基本的な歴史の体系的な理解を深めること。さらに、そのなかのいくつかの要素について考察し、文章で説明できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

授業内試験の成績を重視する。答案にみられる授業の理解度を中心に、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
深谷幸治ほか編　大学でまなぶ日本の歴史　吉川弘文館

5. 準備学修の内容

講義中に言及した人名や歴史用語などを手がかりとして、テキスト・参考文献を参照し、不明な点を各自で調査すること。

6. その他履修上の注意事項

日本史の基礎的な知識を前提とするが、初学者にも配慮する。
なお本講義は「日本史」の範囲全体を扱わず、日本近代史を主たる対象にする点に注意すること。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス　講義の概略（LMS上にて実施）
【第2回】　列強の接近
【第3回】　開国への道
【第4回】　対外貿易の影響
【第5回】　幕末の政局
【第6回】　幕府の崩壊
【第7回】　明治維新
【第8回】　文明開化
【第9回】　士族反乱
【第10回】　民権運動
【第11回】　憲法制定
【第12回】　初期議会
【第13回】　日清戦争
【第14回】　日露戦争
【第15回】　まとめ／最終日試験